**ＩＤとパスワードの管理**

ネット通販、インターネットバンキング、その他会員制のウェブサイトなどでは、ＩＤとパスワードによって本人認証が行われています。

皆さん、複数のウェブサイトで同じＩＤやパスワードを使い回していませんか？

覚えるのが面倒ですから、ついつい使い回しているケースもあるのではないでしょうか？

近年インターネット上のハッカー等は「パスワードリスト攻撃」といわれるものを行っているそうです。

「パスワードリスト攻撃」とは、不正取得したＩＤとパスワードのリストを使って、自動で連続入力するプログラム等を使い、利用者の多いウェブサイトに不正ログインを試み、成功すればそのＩＤとパスワードの所有者に成りすまして、他のウェブサイトにも進入するというものです。

最終的には金銭被害が生じるケースもあるそうです。

対策としては、次の３点になります。

（１）ウェブサイト毎に異なるパスワードを使う。

（２）パスワードの設定は、英字（大文字、小文字）、数字、記号などをおりまぜる。

（３）パスワードの保存は、インターネットに接続していないパソコンにデータとして記録するか手書きのノートに書く。

　　（間違ってもインターネットに接続しているパソコンにデータとして記録しない方がよいでしょう。進入されたら分かってしまいますから。）

以上